広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター

三滝だより

NO. 276
2025年3月15日発行

三滝の山の大木たち

三滝に今年も春がやってきました。山の木々も新芽が芽吹き、花や葉が開く準備を着々としています。きょうは三滝の山に生えている大木たちを紹介します。（樹木のある場所や写真は裏面を参考にしてください）

クスノキ

観察広場からイノシシ谷に向かう入口に大きなクスノキがあります（裏面地図①）。この木の幹の周りはおよそ2メートル40センチにもおよびます。三滝少年自然の家の敷地内では最も太い樹木で、三滝のシンボルともいえます。この木の樹齢（木の年齢）は定かではありませんが、三滝少年自然の家が生まれる前から生えていたと思われます。クスノキは成長が早いため大木になりやすいのだそうです。国内でも神社やお寺の境内に大きなクスノキをよく見かけますが、なかには樹齢が千年を超えるものもあります。

ところで、クスノキは「広島市の木」だということをみなさんはご存じでしょうか？広島市街地でもよく見られ、平和公園にもたくさんのクスノキが植えてあります。三滝少年の家の入口にある案内看板（裏面地図②）はクスノキの板を使って彫ったものです（三滝の山から切り出したものではありません）。また、クスノキは耐久性、耐水性にも優れているため、宮島の厳島神社の大鳥居の主柱も現在はクスノキが用いられているそうです。

クスノキの案内看板

クスノキは木や葉から特有の香りを出すため、衣服などの防虫剤の原料として、木材はタンスの材料としても使われてきました。クスノキっていろいろと優れものですね。

ヤマザクラ

山間に自生する桜をヤマザクラと呼ぶそうですが、三滝の山でも３月末から4月初めにかけてヤマザクラの花が山をピンク色に彩っています。イノシシ谷から展望台方向に向かって行くと左手に大きなヤマザクラがあります（裏面地図③）。その他にも遊歩道沿いに何本か見られます。これまであまり目に入らなかったかも知れませんが、木のまわりの整備を進めていますので立ち寄ってみてくださいね。

オオバヤシャブシ

オオバヤシャブシは本州の広い範囲に分布している木ですが、成長が早いので、山崩れを防ぐ目的で傾斜地に植えられているものも多いようです。木の寿命は30年程度であまり長くはないのですが、三滝少年自然の家のまわりでも、40年を超える年月を経てずいぶん大きくなって生き残っている大木も見られます。オオバヤシャブシの実は独特の形をしており、自然素材のクラフトやリースなどの飾りつけなどにもよく用いられています。本施設内でもっとも大きいヤシャブシは観察広場から青空広場への遊歩道脇にありましたが、残念なことに昨年枯れてしまったようです。しかし、イノシシ谷から展望台に向かう分岐点（裏面地図④）にも大きなオオバヤシャブシがあります。

オオバヤシャブシの実

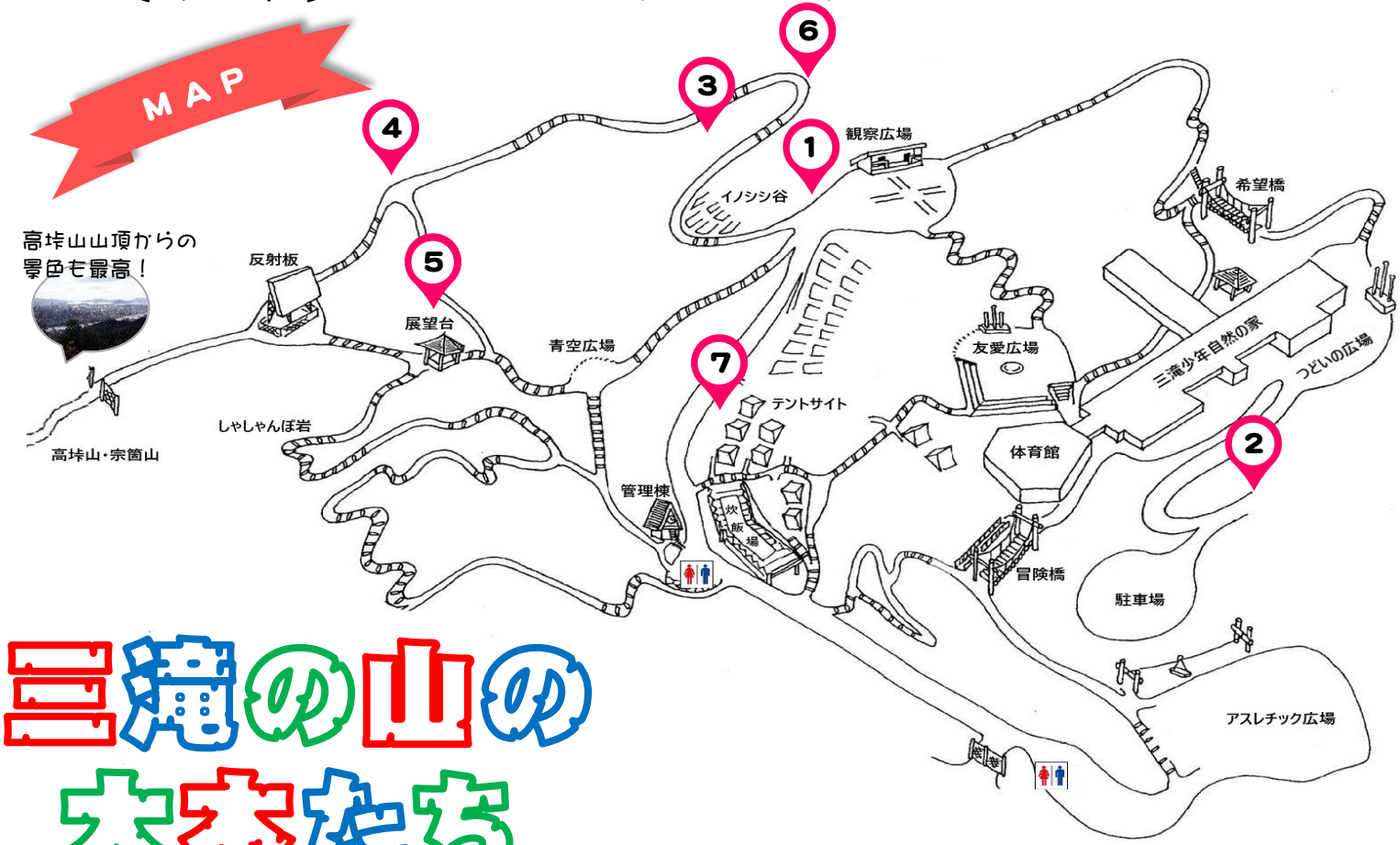
三滝少年自然の家・グリーンスポーツセンターの遊歩道沿いにはこのほかにも、リョウブ、栂の木など幹周りが大きな木も見られます。また、遊歩道に沿って展望台（裏面地図⑤）の他にも広島の街や瀬戸内の海が見渡せるスポットもいくつかあります。木のベンチ（裏面地図⑥）が置かれているところもありますので、木々や眼下に広がる街の景色を眺めながら散策されてみてはいかがでしょうか。

〔　クスノキ　〕

〔　ヤマザクラ　〕

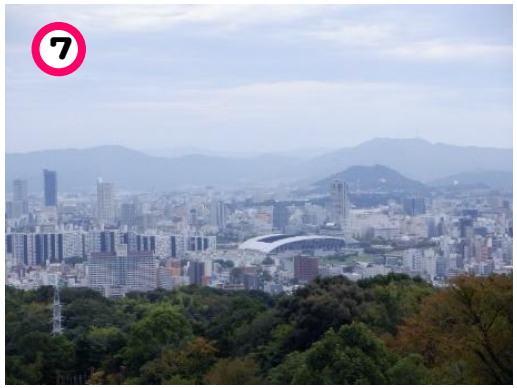
〔　オオバヤシャブシ　〕

〔　木のベンチ　〕



三滝の山の大木たち

〔　展望台からの景色　〕



〔　街の景色　〕

公益財団法人広島市文化財団　広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目 73 番地の 20
TEL082-238-6301　FAX082-238-6302　http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/